

年間授業計画【新様式】

高等学校令和8年度（3学年用）教科

理科

科目 生物基礎

教科：理科

科目：生物基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：佐々木 輝

使用教科書：（「生物基礎」（啓林館））

教科 理科

の目標：

自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要や観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎

の目標：

日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【学びに向かう力、人間性等】
生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見出し探究する過程を通じて、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現できる。	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の多様性と共通性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 生物は多様でありながら、共通性があることを理解させる。 生物の共通性の由来を理解させる。 生物に共通する特徴のうち、すべての生物が細胞から成り立っていることを理解させる。 細胞が独自の機能をもついろいろな細胞小器官から成り立っていることを理解させる。 原核細胞と真核細胞の基本的な違いについて理解させる。 単細胞生物と多細胞生物の存在を考察させ、からだを構成する細胞は一樣ではないことを理解させる。 	第1部 生物の特徴 1章 生物の特徴	【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> 生物の多様性と共通性について、すべての生物で細胞が共通の構造であることを理解している。 原核細胞と真核細胞の違いについて、それらの細胞に含まれる細胞小器官の違いとともに理解している。 生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解している。 生体内で行われる化学反応では、酵素が触媒として働いていることを理解している。 【思考・判断・表現】 <ul style="list-style-type: none"> 細胞が生物の基本構造であることを、生物学的な視点から考察することができる。 呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を、関連づけて考察し、それを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> 生物の多様性と共通性について、理解しようとする。 細胞がすべての生物で共通であると理解しようとする。 	○	○	○	10
	中間考査			○	○		1
	<ul style="list-style-type: none"> 遺伝情報をになう物質としてのDNAの特徴について理解させる。 DNAが複製され分配されることにより、遺伝情報が伝えられることを理解させる。 一定の範囲に体内環境が保たれていることを理解させる。 体液濃度の調節により、体内環境が保たれていることを理解させる。 その際、血液凝固や腎臓の塩類濃度調節について触れる。 	第2部 遺伝子とその働き 2章 遺伝情報とその働き	【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> 体細胞分裂が行われる際に、遺伝情報の同一性が保たれることを理解している。 【思考・判断・表現】 <ul style="list-style-type: none"> 生物の組織からDNAを抽出する技能を習得している。 【主体的に学習に取り組む態度】 <ul style="list-style-type: none"> DNAの性質や構造を、DNAの研究史とともに理解しようとする。 ゲノムと遺伝子、染色体、DNAの関係について理解しようとする。 	○	○	○	11

